

あけましておめでとう

2002年、明けましておめでとうございます

とってとっても久しぶりですね。
この1年、日々の暮らしに追われるままに、忙しく過ごしてきました。
新しい出来事もあり、気が張っていたせいか、風邪一つひかないで、元気にしています。

エッセイの更新を期待する声をたくさん頂きまして、ありがとう。
ずっとずっと気にはなっていたのですが、時間が経てば経つほど、声が掛けられなくなる古い友人のように、こんなに時間が空いてしまいました。

まず始めに、ちょっと遅くなりましたが、報告があります。
2001年9月23日、私は入籍をしました。
相手は、長い間私の仕事を支え続けてきてくれた、スタッフのYさんです。
なんだかこういう話って、やっぱり照れちゃうものですね。

入籍の感想は・・・
吉田の籍からはずれることが、こんなにも切ないことだとは思いませんでしたが、
でも、人生を共に生きていくパートナーがいるというのは、素晴らしいことですね。
自分の選んだ道に、きちんと責任を持ちたいと、今深く思っています。
と同時に、いざという時、自分をしっかり持った強い女性でありたいとも、思っています。
皆さんに祝福して頂ければ、何より嬉しいです。
ちなみに、今流行りのできちゃった婚ではありませんので、よろしく。

結婚を機に、生活面でも変化がありました。
全く知らない、新しい会社で事務の仕事を始めました。
恐いくらい忙しいのですが、新しいことを覚えるのが、今すごく楽しいです。
ここできちんとスキルを身につけたら、自信が持てそうだなと期待しています。
自分では全然ストレスなんて感じていないのですが、ちょっと皮膚のバリア機能が低下してきていて。
お正月は、のんびり休もうと思っています。

結婚と仕事という、大きな大きな変化を迎え、これからのことを考える時。
今の私にとって、このホームページの存在を、改めて考え直そうと思いました。
この1年、あまりにも普通の生活をしてきて、私個人が公に何を語ればいいのか。
私は誰かに向かって、何かを伝えたいという想いがあるのかどうか、という疑問が湧いてきて・・・。
そのことがずっと、こんなに長く更新できなかった理由なんだと思います。

いよいよ、けじめを付けることが必要だと思いました。
この1年間、全く音楽を休んでみて、はっきりと自覚したことは、私はもう表舞台に復帰したいとは思っていないんだなということでした。
もちろん、人生どう変化するかは解りませんが、
今のありのままの気持ちで生きていければ、正式に引退という言葉で、けじめを付ける時が来たのだと思います。

応援してくだされた皆さん、本当に長い間、ありがとうございました。
ここまで続けてこられたことに、私はとても感動しています。

そして何より、深く皆さんに感謝しています。
私にとってそうであるように、皆さんにとっても、全てが良い思い出になりますように……。

2002年1月1日 吉田真里子